

第3回 国際リゾート都市づくり検討会 ※ひらふ第一駐車場関連抜粋

日時：平成30年2月19日（月）10時05分～12時05分

場所：倶知安町役場 3階 会議室

出席委員：小磯修二代表、二川原康平委員、渡辺淳子委員、田中義人委員、吉田聡委員、山田洋委員、青木夏暁委員、東内学爾委員、山崎隆史委員、西田信委員

出席オブザーバー：小樽開発建設部地域振興対策室長 日向正典、小樽開発建設部道路計画課道路調査官 三浦之裕、小樽開発建設部道路計画課道路計画専門官 西山公夫、北海道後志総合振興局小樽建設管理部建設行政室建設指導課長 尾崎孝一（代理：建築住宅係長 今井英稔）、北洋銀行倶知安支店長 平山源

事務局：西江町長、高野副町長、文字総合政策課長、柳澤企画振興室長、山崎企画統計係長、福家観光課長、西口観光係長、原田観光地域振興係長、佐竹まちづくり新幹線課参事、星加まちづくり係長、菅原建設課長、三浦管理係長

1 開会

2 代表挨拶

3 町長挨拶

4 議題

(1) ひらふ第一駐車場の再整備について

事務局説明：柳澤室長

質疑：

渡辺委員 先日のG20の説明会で、この有識者会議のメンバーの方から「サン・スポーツランドにターミナル機能を移動することは無いのですか？」との質問に対し、観光課から「それはもうないです」という説明があったが、それもまた白紙になったということか。

西江町長 会議場の整備が中断になったが、今後もご意見をいただいて再検討していかないとならない。もう一度考える余地が出てきた。

小磯代表 今後の再検討では、交通ターミナル機能をサン・スポーツランドの場所で抱えていくということを含めて、検討されていくという理解でよろしいですか。

西江町長 はい。今回の会議場整備の中でも、バスターミナル機能はないけれども、バスストップと送迎車の停留機能を持たせる方向性でいたるところ。

小磯代表 検討の幅が出てきたと理解してよろしいですね。その前提でご議論いただければと思います。田中委員は有識者会議にも参加されていますがいかがですか。

田中委員 有識者会議の最終回に出席はできず、どのようなまとめがされたのかわからないが、第1駐車場にターミナル機能もすべて置くというものから分散しないとならないという雰囲気であったと理解している。3つの案が提示されているが、できる限り分散しながらサン・スポーツランドにターミナル機能を持っていく方向性と私は理解していました。G20の会議場が中止になったということで、幅広い検討ができるということだが、先行きが見えなくなってきており困惑していたところ。

山崎委員 大雪の傾斜を利用した駐車場の写真が出ているが、これはひらふで作れるものという検討をした上で出しているのか。それとも単なる例示なのか。

柳澤室長 有識者会議でどれにするかという答えは出していない。傾斜地を利用した複層化という道内にあるものを提示しただけ。これがひらふに当てはまるかどうかの検討はしていない。

小磯代表 あくまで傾斜地を利用した事例ということですね。

早川委員 私は10数年以上送迎しながら商売させていただいている。現状のひらふ坂と道道343号の渋滞状況を最初から経験している。綾ニセコができたことによって、送迎車がすべてウェルカムセンターに向かうことによりひらふ坂の渋滞、しいては道道343号の渋滞につながっている。今日もバスが止まってしまい、事故も起き、私も開始時間に間に合わなかった次第。したがって交通のことは今すぐやらないとならない事案だと思う。3つの案の中で考えると、第1駐車場を拠点とするのは無理があると思う。国際会議場がなくなってしまったというのを聞いて残念であるが、何とかサン・スポーツランドに交通拠点を作り、バスと車の流れの分散をしていかねばならないと思う。

小磯代表 この検討が立ち上がったのが2013年、そのときの検討会の趣旨というのは、ひ

らふ地区が将来どういうリゾート地を目指すのかが全然見えないという背景があった。ひらふ地域における施設整備で、都市再生整備計画による社会資本整備交付金を受けるために、その全体の計画を作るための会であった。そのときに交通ターミナル機能が大きな議論の一つであった。そのときはこの検討会だけではなく、地元住民のワークショップを現地で行い、少なくとも第1駐車場に交通ターミナル機能と駐車機能を一体化させることには無理があると。それが大前提で、サン・スポーツランドに交通ターミナル機能を分担するというのはこの検討会の議論の出発点であった。ただ、今回有識者会議でこれだけ丁寧な議論をしたというのは非常に意味があると思う。G20の誘致に向けた国際会議場は難しくなったということですが、今回を契機にして、交通ターミナル機能をサン・スポーツランドでどういう形で担っていけるのかという議論を本格的に再開するきっかけになればと思う。

田中委員 この検討会の要綱では委員の任期は5年ということで、間もなく一期目が終了する。今回の第1駐車場の有識者会議から出てきた結果も踏まえて、今後検討していく場が継続されていくのかどうか、この場で役場の考え方を確認させていただかないと議論にも入っていけない。

小磯代表 そのところは町長いかがですか。

西江町長 都市再生整備事業は終わるが、新幹線や高速道路のこともあり、情報共有しながら全体を俯瞰してひらふのことを考えていく方向にもなっているので、都市再生整備事業がなくなったから終わりということではなく、みなさんと意見することは重要だと思うので、継続して様々な角度からご意見をいただきたいと思う。

小磯代表 5年前の議論がここに来て大事になっていると感じる。全体を俯瞰しながらこの町の目指すべき方向を話す場を失うことは、この地域にはあまりいいことではないと感じる。

渡辺委員 この検討会がありながらあまり活用されていないと思う。みなさん忙しくてなかなか予定が組めないというのもあると思うが、もう少し役場の方に汗をかいていただいて、もっと私たちの意見が反映されるようなものを求めたい。もちろん継続をお願いしたいし、もう少しここに出た意見が役に立つような方法を考えてほしい。新幹線や高速道路など間際の問題がたくさんあると思うが、私たち検討したこともない。

小磯代表 前回は一昨年の開催。今後は、定期的に、年に数回開催する中で重要事項をみなさんと共有していければと思う。

柳澤室長 今後のスケジュールとして、今日いただいた意見を有識者会議へフィードバックする。ひらふ第1駐車場の整備案は、平成30年度には作り上げたい。G20がその次にあり、第1駐車場は、G20の本体、メディア、警備の駐車場に充てられる可能性が高いことから、G20終了後、速やかに再整備に入れるような準備を進めていきたい。また整備案を作るに当たり、この検討会に議論いただくことになると思うのでよろしくお願いたい。